【実施区域・面積】

富山県、63.1ha

【生態系タイプ】

里山林、人工林、二次草原・草地、
低層湿原・湿地

【実施区域の状況】

本サイトは小矢部市南部の雑木林や農地が広がる蟹谷丘陵に位置する。元の地形を活かしてゴルフ場が造成され、良好な生態系が含まれる。また県指定天然記念物「興法寺のハッチョウトンボとその発生地附興法寺のトンボ類の群生地」が含まれる。これまでに国・県の絶滅危惧種17種を含む、314種の動植物の生息が確認できている。

【目標】

本サイト（ゴルフ場）敷地全体の生物多様性の維持及び再生、及び富山県指定の天然記念物「興法寺のハッチョウトンボとその発生地附興法寺のトンボ類の群生地」の自然再生。多様なトンボの生息に適した環境条件の回復を図り、周辺からの移入と新たな個体群の定着を期待する。

【主な活動内容】

・天然記念物指定地の湿地の自然再生：高木の伐採・枝打ち、低木の伐採、高茎草本の刈取り、湿地の造成・維持、悪影響が想定される場合の外来生物駆除
・森林及び草原（ゴルフコース）の現状維持と新たな草原環境の創出
・池の自然再生：一部の池でかいぼりと外来種の駆除を実施する。

【モニタリング計画】

対象は、鳥類、昆虫類（トンボ類）、ゴルフコース道路にそったラインセンサス調査と、事前に設定したエリア内（昆虫類４定点、植物５定点、鳥類2定点）の踏査により、種名を記録し種組成変化を評価する。ゴルフ場全体は5年に1回程度、天然記念物指定地は植物とトンボ類を対象に毎年同様に行う。

【実施体制】

・ゴールドウイン：敷地全体の維持管理、定期的点検、追加的な自然再生活動（樹木伐採、下草刈り、池かいぼり、外来種駆除）の実施、地権者との調整。
・日本自然保護協会：専門的助言・自然再生の技術的支援、自治体との調整支援、モニタリング調査及び結果評価、自然観察会の実施や地域社会への情報発信。





【計画期間】

令和8年3月～13年3月